

映画『ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか？』 「戦争は人間を根本から壊す」

監督・脚本の塚本晋也は『野火』(2015)でアジア太平洋戦争のフィリピン戦線をこれでもかというほど、残酷な映像にしました。戦場の現実を描き、その恐ろしさと日本軍の愚かさを伝えました。この映画でもベトナム戦争の残酷さ悲惨さを映像化しました。そしてアレン・ネルソンという加害者の側にいた男が戦場を生き抜き、除隊して米国に帰ってきたけれどもPTSD(戦争後遺症)に苦しみぬく姿を描きます。家族と暮らしていても、夜は眠ることは出来ず、少しの騒音や振動で、戦場の殺戮シーンや死体の山がフラッシュバックして彼を襲います。戦争の全体的構図は解き明かしませんが、戦場のリアリティによって戦争の本質も明らかにしました。後に日本でも1200回以上、自身の戦争体験を語ったアレン・ネルソンの原作に基づく映画です。



海兵隊の戦闘

ベトナム戦争の米軍海兵隊を描く映画は『地獄の黙示録』『プラトーン』等多くありますが、これはベトナム戦争の本質を鋭く突きました。

映画の前半はベトナム戦争での戦闘を描きます。ネルソンの部隊はベトナム人の村を「ベトコンの拠点」と決めつけて、老人女子供の見境なく「動いているものはすべて」殺しました。彼の上官は殺したベトコンの耳を戦果として切り取ります。村はベトナム人にとっては日常の生活の場ですが、米兵には戦場であり、油断すれば殺される場です。その対照的な関係がベトナム戦争です。そして最前線で闘う彼の部隊は、黒人が多く白人も貧困層という米国社会の差別構造も告発します。海兵隊の戦闘は、現代において「誤爆」と言ってイランの学校を空爆する米軍、「ハマスの戦闘員」と決めつけてガザの民衆を殺すイスラエル軍を連想させます。

人間を殺させない

後半は、薬漬けで荒廃した生活を送るネルソンが、立ち直るために精神科医のカウンセリングを受け、その問答が繰り返し描かれます。「なぜ人を殺した」と問われた彼は「戦争だから、殺さないと殺される」と叫び続けました。そして生徒たちに、記憶を探りながら自身の戦争体験を話し始めます。

戦場を振り返る中で、ネルソン自身の何かが変わったと感じたのは、銃撃戦さなかの防空壕で、ベトナム人女性の出産現場に出くわしたことです。ベトナム人も人間だと思った瞬間です。

映画は、ネルソンを支援する日本人(リリー・フランキー)に、彼の父も戦争体験を一切言わず、一人苦しんでいたと言わせました。戦争戦場の残酷さ、人間が壊される姿を一人ひとりが知ることが「戦争をとめる力」と力説する映画です。

(美賀多台 Q)

◆10月のつどい 10月18日(日)

「ネパールに見る気候危機 先進国のつけにあえぐ小国」

講師 島田 徹さん(当会会員) 参加費 300円

西区文化センター2階第1会議室 14:00~16:00

※詳しくはチラシをご覧ください

◆11月のつどい 11月22日(日)

内容については次号でお知らせします

11月1日からペンライトアクションの開始時間を日没
時間にあわせて17:30とします

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No.1 九条 壊すな!」の アピール行動を続けています

★次回は2026年11月1日(日)17:30~18:30 (ペンライトアクション)

「ネットとスマホ…皆、どこへ向う？」



こども家庭庁の 2024 年調査によると、子供の平均ネット接続時間／日は、小学生2時間43分、中学生4時間51分、高校生6時間17分で、年々増加の一途です。コンテンツも検索、動画がメインです。

子供が自分の頭で考えず、すぐに正解を欲しがると検索はスマホ脳につながる問題ですが、さらに重篤な問題が動画によるドーパミン中毒です。ドーパミンとは脳の快楽物質で、直接の刺激よりも、刺激への「期待」で生じるのが特徴です。SNS 企業では、そこに付け込み、子供が際限なく見続けるようアルゴリズムを開発します。視聴回数が広告収入の生命線ですから。つい、「いいね」を押すと、同系統の動画がマシンガンのように表示されます。こうなると、動画、特にショート動画で、子供は簡単に中毒症状になります。弊害を低減すべく、欧米では未成年のスマホを規制する動きも始まっています。

しかし、問題は子供だけではなく、大人も依存症になります。収益化を目論む発信急増の一方、受信側の価値観や先入観が絡んでエコーチャンバー（仲間内での耳障りのよい情報漬け）が生じ、急速に思考停止に陥ります。ヒトの進化においては、恐怖や危険に即座に対応するために、前頭葉で論理的に考えるよりも、扁桃核で情動的に反応することに慣れてきたからです。

実際、一昨年 of 兵庫県知事選、今年 of 衆院選での民意の動きは変でした。「威勢の良い放言」「嘘をスバツと言えろ政治家」に人々はなびきます。100

年前のヒトラーの演説が目には浮かびます。「答えを急がない」「とりあえず疑ってみる」といった精神的免疫が必須の時代になりました。

（竹の台 タイガー）



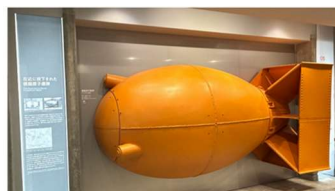
平和美術展・山口洋司さん「皆、どこへ向う」

大迫力！長岡花火大会(8/3)

4月の終わり、とある集まりで「長岡花火を見にいくツアー、男性1名が空いているんだけど…」の話に、思わず飛びつき申し込みました。もちろん初めて。長岡花火大会は毎年8月2～3日で行われるようで、私が行ったのは3日の花火。朝早く神戸を出て、昼過ぎには長岡に到着。夜の観覧までには時間があるので、長岡戦災資料館を見学。神戸空襲も大きな被害でしたが、長岡の空襲もすごかった。長岡の花火大会は、この空襲(8月1日)犠牲者の鎮魂の意味があって、必ず「白菊」という花火が打ち上げられます。資料館には長岡に落とされた模擬爆弾(原爆)の展示があり、当時を語るおばあさんの DVD 上映もあり、見どころはたくさんありました。

さて、5時過ぎに河川敷へ移動、駅からは3km近くあり、けっこう歩きます。午後7時、暗くなりかけたころ花火開始。いやもう次から次に打ち上げられる花火、左右にも長く少し遅れて「ドドン」と音が聞こえる。カラフルで大迫力の花火でした。残念ながら宿泊の越後湯沢へ移動するので、最終の9時までは観覧できませんでしたが、大迫力の花火を堪能しました。

（美賀多台・TK生）



お題「虫」

豪雨去り 虫の羽音に ホットする（伝伝）

自由題

小学生 毎日4時間 スマホ脳（空耳）

以前なら タダで泊まれた 監獄ホテル（奈良）

11 月のお題は「削除」

y-onishi@live.jp

投句をお待ちしています。

ジョー句

2026 年 10 月発行:西神ニュータウン 9 条の会

〔HP〕 <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

〔連絡先〕TEL 090-3359-0776(大西)



HPへリンク

